

# 「刀から学ぶ足利の歴史」 展示リスト



期間：7月29日～8月31日

No.	史料名	詳細	所蔵等
1※	脇指 銘 にしゅうじゅうしなののかみくにひろさく 日州住信濃守國廣作 (号 布袋国広)	天正 18 年 (1590) 刃長 31.2cm 反り 0.76cm 銘 指表「日州住信濃守國廣作」 指裏「天正十八年八月日 於野州足利学校打之」	【指定】重要美術品 (公財)足利市民文化財団
2	刀 銘 せいうんさいみねのりかけくに 晴雲齋源景國	元治 2 年 (1865) 刃長 75.3cm 反り 1.3cm 銘 指表「晴雲齋源景國足利於學校」 指裏「干時六十九歳而造之 元治二丑年二月吉日」	【指定】栃木県指定文化財 (公財)足利市民文化財団
3	刀 銘 せいうんさいみねのりかけくに 晴雲齋源景國	慶応 4 年 (1867) 刃長 86.6cm 反り 0.8cm 銘 指表「新田家臣尾内修理十八代孫上野産晴雲齋 尾内七郎源景國」 指裏「慶應四戊辰年二月吉日於足利學造之」	【指定】足利市重要文化財 足利市
4	短刀 銘 みねのりかけくに 源景國	明治 4 年 (1871) 刃長 26.6cm 反り 0.2cm 銘 指表「源景國造」 指裏「明治四年八月日」	足利市
5	脇指 銘 えちぜんじゅうしもさかつぐまさ 越前住下坂継正	江戸時代 刃長 54.5cm 反り 1.4cm 銘 指表「越前住下坂継正」 指裏「野州於足利作之」	【指定】栃木県指定文化財 (公財)足利市民文化財団
6	槍 銘 しもさかつぐまさ や しゅうあしかがにおいてこれをつくる 下坂継正野州於足利作之	江戸時代 刃長 16.7cm 銘 表「下坂継正野州於足利作之」	(公財)足利市民文化財団
7	あしかががっこう し えいいんかんこうぼん 足利學校誌 (影印刊行本)	(原史料) 江戸時代末期～明治16年 <sup>おかだ とつぺい</sup> 岡田訥平 著 「足利學校誌」上・下、「文庫書籍目録」の3冊から成る 国広が足利学校門前に住んでいたという記述がある	足利市
8	ほんちよう か じ こう 本朝鍛冶考	寛政 12 年 (1800) (初版は寛政 8 年)18 卷 12 冊 <sup>かまた</sup> 鎌田 <sup>なだえ</sup> 魚妙 著 卷三の下野國鍛冶系圖中に国広が足利学校 住と記され、卷十二に「布袋国広」が挿絵入りで紹介 されている	足利市
9	けいちょう いらいしんとうべん ぎ 慶長以来新刀辨疑	安永8年 (1779) (初版は安永6年)9卷鎌田魚妙 著 卷之四 「刃略鑑」に、国広が足利学校に移り住んだ経緯が 紹介されている	足利市
10	ひょうだい くかいこう し け ご 標題句解孔子家語	慶長 4 年 (1599) 徳川家康の命により足利学校第 9 世 <sup>しょうしゅかんしつげんきつ</sup> 庵主閑室元信が京都伏見において、木活字で <sup>もっかつ じ</sup> 翻刻・ <sup>ほんこく</sup> 印刷刊行した、我が国の出版文化史上、重要な役割を 果たした書籍である	【指定】足利市重要文化財 足利市
11	刀剣関連書籍	<sup>しんしんとうたいかん</sup> 『新々刀大鑑卷之一』昭和 54 年 飯村嘉章 著 『日本刀大百科事典<全五卷>』平成 5 年 福永酔剣 著	足利市及び個人蔵

※1 (号 布袋国広) の展示は、平成 29 年 7 月 29 日～8 月 16 日までとなります。

※展示環境上の都合により展示史料の変更及び実史料を写真パネル等に差し替える場合があります。